

熊本市歯科医師会会誌

第22号



馬 具 櫓

1976.7

表紙の言葉

馬 具 櫓

市民会館の前から行幸坂の上り口坪井川のほとりに小さいが綺麗な櫓がある。昔、馬具を入れてゐたと云ふ。外濠である坪井川も最近は澄んで鮒、鯉と魚影が濃い。石垣の下は遊歩道になって櫓から東の長堀の下へと続いてゐる。

目 次

特 集

熊本市歯科医師会学会抄録集	-----	1
---------------	-------	---

応 接 室

中南米の旅、ペレンの思い出	----- 県議会議員 中 村 公 力 ---	1 1
---------------	-------------------------	-----

展 望 室

若手会員座談会	-----	1 4
---------	-------	-----

茶 の 間

わが青春の詩	----- 会員 田 中 宏 ---	2 1
卑弥呼の出身地と墓は菊鹿町か？	----- 郷土史家 木 庭 春 生 ---	2 3

本 日 休 診

日本大学歯学部同窓会熊本県支部	----- 会員 吉 良 直 衛 ---	2 4
クラブ紹介	----- 熊本県歯科医師会ボーリング部 ---	2 8

Dining Room

基金通報だより	-----	3 0
---------	-------	-----

おげんきですか	-----	3 3
---------	-------	-----

作 業 部 屋

昭和50年度通常総会報告	-----	4 2
昭和51年度各委員会事業計画	-----	4 3
わらび狩り	-----	4 9
母と子の良い歯のコンクールを行なって	-----	5 0

告 知 板

新入会員紹介	-----	5 1
物故会員	-----	5 2

特 集

熊本市歯科医師会学会

ご 挨拶



暑中御見舞申し上げます。

諸先生には日々御清栄のこととお喜び申し上げます。最近歯科学術の進歩は目覚ましいものがあり、歯科大学に於ける研究は勿論、各地歯科医師会又スタディグループにおかれましても各分野で広く研究討議される様になりました。熊本市に於きましても活発な活動をされ日常臨床の一助に成果をあげられていると聞いて

おります。先般、本会学術委員会の先生方から診療に於ける色々な研究成果や悩みを持ち寄り、発表し会員相互で思考するのも意義あることではないか、との提案を受け私は両手をあげてこれに賛同致しまして学会開催の運びとなりました。特別講演には元九大歯学部教授、現在九州中央病院長、藤野博先生に永年の研究から「これからの歯科医療について」と云うテーマで私達の明日についてのお話を聞くことが出来る様になりました。多忙な開業の中、色々ご勉強になり発表頂きます諸先生は勿論のこと、諸先生におかれましても日々ご研鑽のことと存じますが、今回のこの学会が明日への診療の一助になれば幸いと存じます。

熊本市歯科医師会長

緒 方 益 夫

特 集

熊本市歯科医師会学会プログラム

時：昭和51年7月17日（土） PM1:00～5:00

所：熊本県歯科医師会館3Fホール

1. 開 会

1. 会長挨拶

1. 会員発表 座長 宇治 寿康先生

- 1) 「ブリッジダミー 舌側縁下に生じた歯石による褥創性潰瘍について」

岩 村 泰 行 先生

- 2) 「未完成歯の自家移植による症例報告」 甲 斐 利 博 先生

- 3) 「強度の下顎前突症に対する口内法による外科矯正手術（Obwegeser
法）の一治験例」 伊 藤 隆 利 先生

- 4) 「骨内インプラント特にBlade-Vent implantの臨床例報告」

甲 斐 文 郎 先生

1. 休 憩（5分）

座長 大関 英明先生

- 5) 「所謂反対咬合について」 堀 川 義 治 先生

- 6) 「補綴のための前処置」 添 島 正 和 先生

- 7) 「マイオモニターを使用して作製した総義歯の一症例」
鈴 木 勝 志 先生

- 8) 「保険点数で考えた一開業医の経済性について」
杉 野 陽二郎 先生

1. 休 憩（5分）

1. 特別講演 座長 熊本大学医学部助教授 田 縁 昭 先生

「これからの歯科医療について」

九州中央病院 病院長

元九大歯学部学部長

藤 野 博 先生

1. 閉 会



これからの 歯科医療について

藤 野 博

歯科医療は一歯単位の医療から一口腔一単位の医療となり、さらに総合歯科医療がとりあげられております。

口腔疾患のため歯科医を受診する患者の中には、申すまでもなく、乳児から老人まで、さらに、すでに他の医師

又は歯科医師によって全身的影響をうけるような治療をうけた人、又現在受けている人々が多数含まれております。

このことは、歯科医療の場合にも疾病だけでなく、疾病をもった病人をなおすという立場からの症例別治療が益々重要となって来たことを示すものであります。

私は、口腔外科臨床を通じて、このことの重要性を強く印象づけられた症例のいくつかを御報告し御参考に供じたいと思います。

明治43年 6月 兵庫県津名郡五色町に生る
昭和12年 3月 九州帝国大学医学部卒業
昭和12年 4月 九州帝国大学副手(医学部第一外科学教室)
昭和17年 6月 医学博士の学位授与(化学療法ト血液酸-塩基平衡障碍トノ関係に關スル実験的研究)
昭和18年11月 九州帝国大学助手(医学部)
昭和18年12月 九州帝国大学講師(医学部歯科学口腔外科学教室)
昭和19年 6月 九州帝国大学助教授(医学部)
昭和29年 4月 九州大学教授(医学部)
昭和32年 9月 アメリカ合衆国などに出張
昭和38年10月 アメリカ合衆国などに再度出張
昭和42年 6月 九州大学歯学部開設に伴い歯学部教授となり医学部教授を併任

九州大学歯学部初代学部長
(昭和48年5月まで)
九州大学歯学部附属病院初代
病院長(昭和44年5月まで)
九州大学評議員
(昭和48年5月まで)

昭和48年10月 公立学校共済組合九州中央病院病院長併任
昭和49年 4月 九州大学定年退官

昭和37年 第16回日本口腔科学会会長
昭和46年 第14回日本形成外科学会会長
昭和47年 第17回日本口腔外科学会会長
昭和45年 西日本文化賞(兎, 口蓋裂の研究)

会 員 発 表 抄 録

Bridge-Dummy 舌側下縁に生じた 歯石による褥創性潰瘍について

岩 村 泰 行

私共の診療室で日常触れている何んでもない様な問題でも、これを改めて見直おしたとき種々な諸問題に直面することがあるものです。

今回は下顎前歯部欠損に対して施こされた補綴物、特に「ダミー」舌側下縁に生じた歯石によって惹起したと思われる褥創性潰瘍についてその療法並びに若干それに対する考察を加えてみたいと思います。

未完成歯の自家移植による症例報告

甲 斐 利 博

・乳幼児期より乳歯ウ蝕の罹患率が96%と報告されている今日、 $\overline{6}$ の早期ウ蝕により若年期より抜歯に至るケースがただ多いことと思います。私、中学一年生の $\overline{6}$ の抜歯のよぎなくにあたり、 $\overline{8}$ を自家移植の機会を得ましたのでここに症例報告致します。

・未完成歯の自家移植については、移植歯の剔出に際しては、Hertwrg 上皮鞘つまり歯小囊の損傷をさける事が大切であり、又移植床を深く形成して、歯冠が歯肉縁下に植入しうる様頬舌的に粘膜縫合を十分しうる状態が良いと云われている。

又、その他根の完成した歯の移植、埋伏歯による移植は臨床上生体に生着し、永続的に機能し得ないとされている。

他家移植は移植免疫反応により、不適當にされているが、山根稔夫先生は人の保存歯牙の他家移植の成功例も報告されている。

強度の下顎前突症に対する口内法による外科的矯正術の一治験例

伊 東 隆 利 ・ 伊 東 武 嗣

下顎前突症に対する観血的矯正手術法は、従来よりコステッカ氏法をはじめ、骨の上行枝部で切断する法、骨体部で切断する法、など種々の術式が用いられていますが、安定した骨癒合が得られ難い。あるいは口腔外に瘢痕を残すなどの欠点があります。

今回、口腔内からの手術が可能で、下顎骨を矢状に分割し、安定した骨癒合が得られ、後もどり現象もないObwegeser法を行い、良好な結果を得ましたので、その概要について報告させていただきます。

患者は18才男子。下顎前突症(Class・II)。Over Bite 4mm, Over Jet 8mm。

9才時から2年間、チンキャップ、アクチバートルの装着等の矯正治療を受け、一時、切端咬合まで改善されましたが、その後、後戻りし放置していたものです。

気管内挿管麻酔下にて、口腔内よりObwegeser法により、下顎骨を矢状に分割、下顎骨を後退させ固定。6週間後固定装置除去。下顎歯列弓が、上顎歯列弓に比較して狭窄されていたのでExpansion Screw 付アクチバートルを装着。3カ月後正常と思われる咬合関係に達しました。

現在、術後8カ月を経過していますが、咬合関係はもとより、審美的にも良好な結果が得られ、手術による後遺症も認めておりません。

なお、手術に使用したObwegeser教授考案の顎外科用器機の紹介も行ないたいと思います。

骨内インプライト（特にBlade-Vent implant）の臨床例報告

甲 斐 文 郎

骨内にインプラントを行うことに就いては、現在、とかくの批判がなされております。

ここ数年、我国に於ても一種のインプラントブームをきたしておりますが、その反面、失敗例の報告も数多く見られ、安易にインプラントを行う態度は厳に慎まなければなりません。

私達がインプライトを行うに当っては、口腔内機能の回復の一助としてのインプラントと考えるべきであると思います。従って、臨床の基本である歯内療法、補綴の問題、更には口腔衛生の問題等に今以上の注意と努力を払うならば、インプラントの失敗ははるかに減少するものと思われれます。

今回発表いたします症例は、従来は片側、又は両側遊離端義歯の適応症とされていた症例につき、患者の希望に依り Blade Vent implant の嵌入を行い、架工義歯を製作したケースであります。

インプラントを行いました患者は半年毎のリコールを行い、X線フィルム、カラーフィルム等の撮影等に依り予後の経過を観察しております。

此度は、そのX線フィルムとカラースライドを用いて御報告し、先生方の御批判を仰ぎたいと思います。

所謂反対咬合について

堀 川 義 治

反対咬合は、特に日本人に多いといわれている。事実、小学校一年生の検診の際クラスに数名の患者を発見する事は、決して珍しい事ではない。然し、乳歯が漸次脱落して永久歯列に移りゆく過程に於て、いつとはなくそれ程目立たなくなるのも又事実である。「その中によりくなりますよ。」とは、患者によく言う言葉ではあるが、永久歯咬合になって患者が来院し困惑した経験がある。

反対咬合には、歯性と顎性のものがあると言われている。そして歯性の反対咬合は易しいが、顎性の反対咬合は困難とされている。今回は顎態模型による横田式診断法を中心に2～3の症例を紹介したい。

補綴のための前処置 (特に正常な歯肉)

添 島 正 和

最終補綴に入る前に歯肉の状態は出来るだけ正常な歯肉にもどっていないければならない。では、その正常な歯肉とはいったいどういうものであろうか？

私自身が診断のきめてにしている事は、歯肉の色が明るくうすいピンク色である事、Stippling がある事、歯肉の適度な硬さ、出血排膿がない事、生理的盲嚢の深さが 1.0 ~ 1.5 mm 位である事、ある程度の付着歯肉の中がある事、小帯の位置の異常がない事、歯肉の形態等である。ブラッシングの条件としては、より簡単で長続きする方法でなければならない。

Perio の患者すべてがブラッシングだけで治癒するものではないが、自分がやった症例からふりかえてみて、ブラッシングだけで、（これには、Deep Scaling Curette Occlusal Adjustment 小帯手術Gingivo Plasty 等の処置は含む。） 治癒したものについて発表したいと思います。

治癒する条件

- (1) 患者の協力（患者の根気 Dental I Q）
- (2) 家庭環境（食生活、職業）
- (3) 仮性盲のうか真性盲のうか
- (4) 適当な Provisional Restoration 不良充填物を除去し、適切な支台形成を行こない、Marginの良く Fit したTemporary Crown (Plastic) をSetしておく。
- (5) 歯槽骨の吸収程度（歯根 $1/2$ 位までが適当）
- (6) ブラッシングの方法



マイオモニターを使用して作製した 総義歯の一症例

鈴木 勝 志

日頃私共が臨床に携わっている時、月に何例かの無歯顎の患者に遭遇する事と思います。その様な時私共が難症無歯顎に当る確率は非常に高いものがあります。この事に対し、古くから諸先生のセオリー、テクニックが種々考えられて来ました。それは、印象方法に始まり装着までいろいろの事でありました。総合的な補綴臨床ではその印象となると機能印象であり、動的印象の術式が多くの臨床家が行って来たものであります。私共臨床家として総義歯装着後の患者の生理的苦痛、特に義歯床縁の問題が出て来ると思います。その原因の中に咬合の問題があり、義歯作製に当って種々の印象以外のファクターがある事は衆知の事ではありますが、今一度印象という事に目を向け、動的印象という事を考えなおしてみたいと思います。そこで、マイオモニター（不随意的に咀嚼群に一過性同時収縮を電気刺激によって誘発する電気装置であり、無歯顎の印象、咬合調整、下顎位の記録、顎関節症の治療、などの事が出来るものといわれています。）を使用して印象をとり総義歯を作製し、少しでも義歯が口腔内に於て生きもののごとく安定するならば興味ある事と思います。

保険点数で考えた 一開業医の経済性について

杉 野 陽 二 郎

中医協は昭和50年9月再開以来混乱を重ね、ついに本年3月23日歯科差額についての答申がなされ、歯科診療報酬引き上げは、歯科委員不在を理由に見送られてしまった。だが我々開業医は、雇用者の給与の引上げ、又材料費、技工料等の値上げに堪え得ねばならない。

現在の保険点数によって我々はいったいどれくらいの実収入があり、又必要

最小限度の使用材料、それに共う経費等について、各々（根管充填、鑄造冠、抜歯等）調べ、その結果を出してみたいと思う。

我々開業医がややもすれば無関心な材料の量、それに対する費用について、もう一度ふり返り、日常の診療の参考になれば幸いです。

学 会 予 告

第21回日本口腔外科学会

会期：昭和51年10月9日（土）、10日（日）

場所：北九州市戸畑区 戸畑市民会館

〒803 北九州市小倉北区真鶴2丁目

九州歯科大学第2口腔外科学教室

日本口腔外科学会会長

池 尻 茂 教授

第21回西日本歯科矯正学会

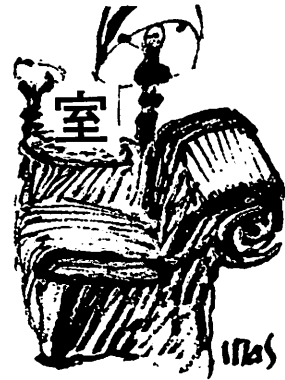
会期：昭和52年2月12日（土）、13日（日）

場所：熊本市千葉城町 熊本厚生年金会館

〒862 熊本市保田窪本町1176-3

準備委員長 岩 村 泰 行

応 接 室



中南米の旅、ベレンの思い出

県議会議員 中 村 公 力

1975年8月6日、全国議長会の名のもとに編成された各県代表中南米行政視察団の一行は午後5時発羽田の日航ジャンボに乗り込むべく2時集合、V・I・Pで結団式を行い出発を待ちました。

真夏の太陽を背に受けながら5時すぎ機上の人となった私共一行は、同乗500人の乗客と一緒に一路サンフランシスコを目指して太平洋上に飛び立ちました。

日付変更線の所為で一夜、暗闇を知らない白夜の洋上を過し、一日遅れの現地時間8月6日午前10時シスコに到着、出迎えの県人会の方々と直ちに市内を見学、アメリカ大陸の一夜を県人会の歓迎会に夜の更けるのも忘れ、明けて7日8時シスコ発、加州、フロリダ、テキサスの大平原を眼下に見下しながら、機は一飛に西海岸のマイアミに午後4時頃到着しました。

約8時間の大陸横断、東海岸から西海岸に至るアメリカの広大さ、世界に誇るアメリカの底力がこの大地の底に秘められている事が、その肌に触れ、しみじみと解った様な気がいたしました。

マイアミは、アメリカ、ヨーロッパ諸国から中南米に向う玄関口の役割を果し

ています。殆どどの航空便が、ここから南米に向け飛び立っているのです。午後9時マイアミ空港発、キューバ、ハイチ島をひとまたぎにして午前4時南米大陸最初の地ベレンに到着しました。

ベレンはアマゾン川の河口、大西洋から約120キロ上った処にあるパラ州の首都であり、大アマゾン地域の経済発展上、重要な港まちでありアマゾンを上下する船舶のすべてがここを拠点として航行し、古い歴史をもつ人口70万の古都であります。

ベレンの町の特色は、いたる処街路を埋めているマンゴの並木で、居並ぶ商店より高く茂ってアマゾンの風にゆらぎ、見るも鮮やかな色どりが時折訪れる俄か雨に洗われ、より新鮮にさわやかに町行く人の眼を楽しませてくれます。

この南米最初の町ベレンで、歓迎のため遠くからも集まって頂いた30数名の熊本県人の方々の誠意溢るる大歓迎をうけつつ二泊三日を過したのでありますが、その、丸々二昼夜の間に私にとっていつまでも忘れる事のできない暖い同胞愛のひとつまを熊本市歯科医師会の機関紙に載せて頂く事を何かの縁と思い只々心か

ら感謝申し上げる次第であります。

それは8月8日ペレン到着の夜の事でした。当時、私は7月の初め頃から永年気にかかり乍ら放置してきた虫歯の治療と、古い入歯の修理に市内K歯科病院に通院、治療中だったのです。定められた日に真面目に行けばいいのに痛みがなければ遂におくそびれ、多忙の美名のもとにづぼらして押しやって来たのがそもそもの原因で、さあ一ヶ月の外国旅行に直面しあわてふためいた私でしたが、今更どうにも完全入歯に間に合いません。

出発間際、どうにかほんの仮歯でもてるところまで行きましょとK先生が保証なき仮歯を、文句は言わない事を条件に入れて頂き当面の間に合わせとして不安な中に羽田を発ったのでありますが、あにはからんや見事的中、夜の歓迎会にブラジル特有の串刺し肉料理を振舞われ、大きな焼肉にかぶりついた途端、二本の前歯が音をたてて破さいしてしまいました。奥の方ならいざ知らず、正に真正面の歯なしときは、さあ今から一ヶ月ブラジルに着いたばかりのところをと思えば、閉口してしまいました。交通公社の千賀君（添乗員）を通じて、現地のガイドに頼んではみたものの、この点我が日本と違ってペレンには歯科なるものが、そう至る所がないという返事です。70じいさんの様に歯なしで各地を廻るのも格好つかず、何とかしてくれと泣かんばかりに頼んだ誠意が通じてか、現地ガイド（日本人）が翌朝案内してくれたのが、路地から路地をめぐってやっとたどり着いた民家の並ぶ中に混在する看板なき治療所だったのです。ドアを開けて中に入

るとせまい板張りの待合室があり、椅子とてありません。ガイドが中の診療室に入って、先生らしい人と何か話していましたがしばらくして中に入れと言います。不安な中に、何とかせねばならない現在の有様に思い切って更に古いドアを開けました。

三坪か四坪位の診療室に古いひなびた二台の治療台が座っています。戦前、戦中今から30年前の頃「ガーガー」と、あのいやな音に耐えながら治療を受けたそのものの機械が目の前に、そのままの形で据えられてあるのです。そして、現れた先生は歳の頃40前後の一見、みるからにおとなしい日本の女医さんだったのです。もう一人現地人らしい白衣なき看護婦さんらしい若い女性があり、先生一人に看護婦一人の細やかな歯科診療所とのみ込みました。

何もかもありません。何とかして仮歯でいいから一日で頼むと精一杯女医さんに頼んだ事はいうまでもありません。診療をした女医さんが小さな声で、「とても一日では無理です。」と言うではありませんか。ここで引き下がっては如何にもなりません。兎に角、何とか頼みますと、再三に渡を交渉の上、「何とかやってみましょ。」と言ってくれた時の嬉しさは今でも忘れられません。何んでもかんでも一ヶ月もててくれればいいと思い、明朝訪れる事を約束し、その日の視察に向ったのであります。

明けて9日、朝食後真直ぐに診療所に車をはしらせた私でしたが、やさしく迎えてくれた女医さんは診療台の私にこう言うてくれました。

「あくまで緊急の仮歯ですから保証はできません。途中でとれるかも知れませんが、その時は悪しからず御諒承下さい。何とかして御国に帰られるまではもつように、私の技術の全てを尽して作ったつもりです。」と言い乍ら、きちっとした仮歯をはめこんでくれました。さあ、これで今日からの日程も安心して行けると、嬉しさの余り治療費を問いますと、その女医さんが横に手を振り、「そんなものは要りません。」と言うではありませんか。びっくりした私がたたみかけるように、「いくらですか。」と連発する中で、「仮歯ですから、義歯代はいりません。責任の持てない治療代はもらひ訳にはいきません。私も同じ日本人です。あなたが旅行中に困っておられる事を唯お助けしたまでです。お互い困っている時は同じです。そんな心配は毛頭ありません。」と言って固く辞退されるのです。

これにはほとんど困ってしまいました。然し、このままで、「そうですか。」と言葉に甘える気にもなれません。

ガイドに相談して後で渡してくれと、一万円札を持合せの封筒に入れ心からのお礼を述べて出たのでありますが「どうぞ、御身に気をつけてブラジルを良く観

て帰って下さい。」とやさしく言って送って下さった日系女医さんの温かい心やりは、中南米一ヶ月の旅を通して全く心温まる思い出のひとつまであったと思います。

日本の歯科医専を出て家族の関係でブラジルに渡りここベレンで細々と開業をつづけると語ってくれた中年女医さんでしたが、如何なる事情があるかは知りませんがこの地で単身頑張っている、一日本女性として仕事と使命に生きる崇高さをひしと感じ、今尚時折その時の思い出が昨日のように甦る昨今です。

思い出のベレンを後にリオデジャネイロそしてブラジルの新しい首都ブラジリア、更には日系80万といわれるブラジル最大の都市サンパウロ、至る処で日系、特に本県人会の皆さんの熱烈なる歓迎を受けブラジルはまさに日本人によって発展を遂げたという実感をまざまざと身を感じながらパラクアイ、ベルー、メキシコを廻りロスアンゼルス、ホノルルを経て8月31日羽田に到着したのであります。ベレン以後の状況は又機会に恵まれた時御報告いたしましょう。最後に市歯科医師会の皆様の市民健康維持増進のため益々の御健闘あらん事をお祈りして拙文と致します。



展望室



若手会員座談会

主催：広報委員会

日時：昭和51年5月10日午後7時半～

場所：熊本県歯科医師会館3F

主催者：

本日は、広報委員会の呼びかけに御参集いただきありがとうございました。現在、歯科医療と、歯科医師の立場は、四面楚歌の中で、重大な立場にあると考えられます。この様な時は、内部を堅め、団結して事に当らねばならないと思います。団結の為には、お互いに暖かみのある交際が日頃から必要と考えられ、その一手段が会報であると思います。会誌は、会員の先生方の声を反影し、親しみのもてるものであらねばならないと考え、企

画している次第であります。

この方針に基づき、本日は、若い同輩の先生方ばかりにお集まりいただき、日頃考えていること、親しい先生と話されていること、他の先生方にたずねてみようと思っておられること、現況、未来について、おおいに語ってもらおうとの企画であります。

本日取りあげたテーマは、広報委員会で日頃委員同士で話したりしている事柄で、このテーマに取られる必要はありませんが、座談会を進めていく方向としていただければ幸いです。テーマは、

1. パラデンタルスタッフとの関係について、衛生士、技工士等。
2. 市歯科医師会について
 - (1) 内部的活動
 - (2) 外部的活動
 - (3) 支部会のあり方
 - (4) 各委員会のあり方
 - (5) その他
3. 新規開業について
4. 現在の歯科医療と保健診療、社会保障の問題について
5. 開業していて困ったこと
6. 税務問題について



- 7, 口腔保健センターについて
- 8, 病気等の休業に対する歯科医師会の役割について
- 9, 医療過誤について
- 10, その他

本日の座談会で、若い我々の意見として、まとまった話しの結果は、市歯科医師会の執行部に伝えたいと考えております。

以上、今回の座談会の経過と目的を申し上げ挨拶にかえさせていただきます、この会合を進行して行こうと思います。よろしく願い申し上げます。

① パラデンタルスタッフとの関係について

司会者：衛生士、技工士等との給与のこと、あるいは勤務時間、有給休暇等について特別に決められている先生があればお伺いしたいのですが。特に衛生士の初任給等についてある程度給与額の線がでていいのではないかと広報委員会等で話が出ているのです。

先生方は今年の衛生士の初任給はいくらぐらい出されていますか。

B：私が衛生士学院で聞いたところでは65,000から70,000が今年の初任給とのことでした。

A：私の聞いたところでは65,000～68,000ですよ。

D：衛生士の初任給が一番身近かな問題ですので、ある程度基準になる最低線を決めて、それから以上と決まるといいですけど。ある程度の目安がほしいですね。競争して上げるよりは。

司会者：A先生B先生はどのようにして

衛生士の給与の基準が解りましたか。

B：私は衛生士学院に直接電話して聞きました。(68,000～70,000)

E：県の理事会の段階で聞きました。(63,000～65,000)

A：私は衛生士学院の担任の先生に個人的に聞きました。

司会者：衛生士の初任給は何を基準に決めるのですか。

A：去年は、国家公務員の医療職(二)の6等級3号俸の俸給表に準じてベースを決められたようです。但し、ボーナスその他、有給休暇は別にしてです。今年は知りません。

I：私のところでは2ヶ月前ぐらいの熊歯会報のアンケート結果によって給料の目安にしました。しかし、準看に準じて決まるのは不当で、準看は中学卒業で衛生士は高校卒業ですから、衛生士の立場とすれば準看に準じた給料しかもらえないのは、職場に対する明るい希望をもたないのではないのでしょうか。衛生学院の基準はいわゆる学院の運営委員会で決まるのでしょくど。その点は考えてやった方がいいと思います。



J：衛生士の給料は今より上げるべきだと思うのです。歯科医業の魅力を上げるためには給料を上げるべきだと思います。

I：私もそう思います。高看は高校卒から3年、衛生士は高校卒から1～2年なのに、高看に比べて衛生士の給料がかなり低いと思われます。

K：私もそう思います。職場に対するプライドを持たせるためにも給料を上げるべきだと思います。

C：今までの初任給の基準は最低線で、あくまで参考基準であって、現状ではそれ以上の線で給料をやっているのではないですか。

M：今、名古屋で問題になっているのですが、衛生士についてどこまで仕事をさせるかによって、その程度によって給料をきめることがあります。とにかく、熊本の衛生士は仕事の程度にかかわらず給料は安いと思われます。

O：高校卒の職安の最低賃金額を60,000円と記憶していますが、それに較べると衛生学院卒の初任給基準の63,000～65,000は安いのではないですか。



J：しかし、初任給の額はある調査によると熊本県での68,000は、他の職場に比べて上部にあります。だが、衛生士として他県と較べればわかりませんけどね。

B：衛生士50名中縁故関係でなく純然たる自分で入って来たものはたして何%になるか。それで初任給の基準が下がったものとなるのではないのでしょうか。それでもある程度の基準がほしいですね。そしてあとは各自それを評価して決めれば良いと思います。

司会者：B先生におたずねしますが、先生は県の理事をなさっているので聞かれたのだと思いますが、県の理事会では、衛生士の初任給がわかっているのですか。またそれは何によって決まるのですか。

B：県の理事会では、今年の衛生士の初任給はこれくらいという話は聞いております。それは、学院の運営委員会で決めているのではないですか。しかし、それを公にすると法的にも問題があるのではないですか。熊歯会報等に報告がない理由は知りません。

D：県の理事会でわかるのであれば、一般会員にもそれを知らせてほしいですね。それをそのまま自分の診療所にあてはめるということではなく基準として知っておきたいですね。新卒者を雇用する、しないは別問題としてそれが経験ある衛生士さん等の給与の基準にもなりますしね。

司会者：結局ある程度の目安を知りたいことと、例えば理事会で話が合ったのに末端まで話がとどかないことを是正

してほしいことですね。皆さんどうですか目安を決めて会報で流すという意見はありませんか。

K：目安を決めて公に流すことは法律にふれるのではないですか。その点を調べておくべきでしょう。

I：私のところでは看護婦の給料について医師会に問い合わせたところ㊟で封筒を送って来たので、公にしては困ることがあるのではないのでしょうか。

L：公にしては困る面がありますが、ある程度線がでてよいのではないですか。また、それを公でもなく知る方法はないものではないでしょうか。

司会者：ではここで問題を基準になる卒業した衛生士の初任給について、衛生士学院に聞くかどうかで話を進めてみたいと思います。

J：衛生士として初任給の基準を決めるのはいけないなら、そのかわりに国家公務員の医療職で衛生士の給与に準じた給与体系について知らせたらどうですか。

N：そうですね。国家公務員のベースがわかればあとは自分のところで㊠があれば良いと思われます。

D：結局ある程度の基準になる目安がほしいですね。そしてあとの昇給率の基準がほしいです。基準になる給料の額の伝達方法を考えてほしいですね。

司会者：給料についてなかなか話がつきませんけれど、広報としてこの2、3年の統計をとって流すようにします。それで昇給などの程度がわかるのではないのでしょうか。

次に、勤務時間、有給休暇について

意見ありませんか。

E：勤務時間、有給休暇は歯科医師会での就業規則に書いてありますか。

D：それは具体的にはありませんけど、労働基準法によって参考にしています。

司会者：この中で有給休暇を明白にしている人は挙手して下さい。（30人中8人の先生の挙手）

D：有給休暇は別にして生理休暇を要求されて困ったことがあります。

P：私のところでは、生理のとき2～3時間休ませてくれといって2～3時間休み、あとは働いています。

A：広報委員会でアンケート調査して衛生士、技工士等の給料、その他有給休暇、勤務時間の結果を発表してほしいですね。

司会者：そういう結果を会報にのせることは意義あることと思います。次の熊市歯会会誌の企画として行いたいと思います。

② 歯科医師会について

司会者：歯科医師会は、何をしているのだろうという話しも聞きますが、市歯科医師会の活動等について御意見はあ



りませんか。

A：代議員制度に疑問がありますね。市の執行部は、代議員会を一般会員の代弁者の意見聴取をする場と考えられているならややおかしいと思います。その代議員の選挙もなければ、代議員と一般会員との接する場もないのが現実です。今は支部長＝代議員となっていますが、であれば支部会を開いて、代議員会の議題の相談や意見の聴取を行い、その支部会の意見を代議員会で発言してもらい、その結果を支部会で報告してもらうのが本当だと思います。その様な支部会のあり方から色々な横のつながりが出来ると思うのですがね。その様なつながりが出来ることが団結力だと思います。

D：都会では歯科医師会に入らなくてもやっている人がいる。県歯科医師会、市歯科医師会はこじんまりとまとまりすぎているのでは。意見を出せるような場がない。その場が支部会ではないでしょうか。

C：代議員が誰だかわからないし、何のための代議員かわからないのが現状です。代議員の意見でなく末端の人の意見を聞いて、会の色々なことを末端まで浸透してほしいですね。

D：歯科医師会が仮りに完全な親睦団体であれば代議員はいらない。と云えば語弊があるが、政治団体にならいると思う。歯科医師会が単なる親睦団体か、学術団体か、政治団体かはっきりわかりません。だから代議員の性質が何かわからないのです。

E：極端に云うと歯科医師会は健康保険、

社会保険の窓口と考えていました。それ以外何の活動もないのだから保険に有利なように働きかけさえしてくれば会員が何も云わない。だからわざわざ話合う必要はいらなかったのではなかろうかと思われます。やや皮肉に聞こえるかもしれませんが。

F：政治団体の色彩が強いなら一端緊急なことがあればスピードあげて対処して通知してほしいですね。今回の中医協の問題についての県社保担当からの通知にしてもおそいですよ。

司会者：支部会について何かありませんか。

G：支部会の開催が少ないので、支部会を何回か開くようにしてほしいですね。又支部会がなければ代議員会がなりたないのではないのでしょうか。

H：支部会がなければ代議員会はありえないですけど、今支部長＝代議員で支部長がやめると云わないかぎり代議員は同じ人がなっています。支部会を通して末端の会員までの伝達と親睦があるべきだと思います。それが欠けていると思われます。

B：支部会でなく年令別に意見を聞き、その中から代議員を選出した方が末端の代表者としてピンと来ますけど。

D：今、仮りに保険制度がなくなったら、今の歯科医師会に何人入っているでしょうか。保険制度があるから歯科医師会も成り立っているのではないかと思われます。それなら保険制度、社会保障制度に徹してもらいたいと思います。政治的に会員を行動に併なおうと、あるいは、一致団結して何かをやろうと

するのであれば、支部会を通して末端まで横の連絡がなければ行なえないと考えます。そういう意味で、支部会のあり方を考えてほしいですね。

I：何か問題がおこった時に歯科医師会は何も対策を考えていない点が、日歯にあるのではないですか。どうももどかしいです。すぐに対策が出来る様な機構がなければいけませんよ。現代は全ての面に細分化がなされ、物事が複雑化しています。それに対応出来る活動力と知識が必要な時です。今までの行事や同じ事のくりかえしは、つまり現状維持は後退でこそあれ、前進にはならないと思います。中医協で歯科だけ保険点数が上げられず、しかも四面楚歌の中、孤立無援している現在こそ歯科医師会にとって一番重要な時期に、一度も県単位でも市単位でも皆でこの現状について何か話し合おうという動きもない。何んだか他人事の様な感でたまっている。このような事でいいのでしょうか。ただ日歯の動きを待っているだけでいいのだろうか。そのあたりに Dilemma を感じるのですが。

L：中医協の問題は、歯科の特殊性を補綴におきすぎたために問題があるのではないのでしょうか。あまり補綴にこだわることなく、歯科の医療性というものを今一度考えてみる時期かもしれないと思います。歯科の差額問題も、その問題点を医師側におくか、患者側におくか、で論点は変わって来ると思います。あまり医師の側からのみの立場だけで考えていると、国民からとり残されてしまうのではないのでしょうか。国

民があり、社会があり、その中での歯科医師であり歯科医師会だと思いますが。

F：昨年来問題になった歯と歯科医の問題も、一部に不良医師が存在していたことは認めざるをえない現状だと思います。しかし、その背景となった予防医学の保険制度の未導入、保険点数の算術的一部手なおしによる場当り的な政策、それに甘んじていた歯科医師側の問題はあるにしても、世の中に対する、社会一般に対する歯科医師および歯科医師会の P R、啓蒙、接触というものが少なく、足らないのではないのでしょうか。今からは、会員皆で社会に呼びかけ、とびこんで一諸に我々の“医は仁なり”が出来にくい現況を考えてもらう時だと考えますが、その点で歯科医師会も、これらにエネルギーを向ける方向づけと企画を考えることを考えてもらいたいですね。

司会者：今日はいろいろ意見、提言、苦言が出ました。さらに具体的に話しを進める予定でしたが、時間も遅くなりましたので、今一度次の回にこの続きを進めることにし、さらにこの様に話し合える機会を年に何回か開きたいと主催者側として思っております。一応本日はこれで終りたいと思います。次回は、テーマの続きと、本日の話の具体的なことについて話を進めて行く予定です。本日はありがとうございました。

以上の座談会は、昭和51年5月10日（月曜）に歯科医師会に入会されてい

る38才以下の先生に呼びかけて行いました。出席された先生は以下のごとくでした。なお、順不動で敬称は略させていただきます。

なお、第2回の若手会員座談会は、5月24日（月曜）に行いました。その時の模様は次号に掲載する予定です。

座 談 会				出 席 者			
田 島 宗 穂	佐 藤 敏 夫	浜 坂 浩	椿 幸 雄				
緒 方 進	後 藤 啓 爾	藤 波 剛	合 沢 康 生				
堤 直 文	浜 坂 浩 一 郎	寺 脇 博	菅 原 洋				
富 岡 浩 雄	関 剛 一	千 場 敏 昭	五 島 保 則				
宇 治 道 孝	本 田 亘	牧 野 敬 美	西 川 庄 次				
菊 池 英 一	鈴 木 勝 志	伊 東 隆 利	徳 永 宣 夫				
坂 本 憲 昭	杉 野 陽 二 郎	奥 田 良 樹	山 室 紀 雄				
甲 斐 利 博	坂 元 和 彦	小 柳 大 明					

学 会 予 告

第29回九州歯科医学大会

学会テーマ “ 国民医療の向上と将来の歯科界 ”

会期：昭和51年11月13日（土），14日（日）

場所：福岡市 福岡市民会館

担当：福岡県歯科医師会

茶



わが青春の詩

会員 田 中 宏

昭和29年4月久留米大学歯科教養課程に入学した。二年間を筑紫野の学舎で勉学に励み故郷を偲びつつ、石川琢木に憧れる青春時代を味わった。当時は唯一つ、九州歯科大学に進学する事を目指して頑張っていた。つれづれに、西に背振山、雄大な筑後川をはべり、南に北原白秋の地柳川を頂き、高良山より筑後平野を仰ぎ乍ら、自ら「独りの路」と題作して詩を作った。

筑紫野に文を学びし幼相の

夢路に在りて麗はしきかな

田 中 宏

前期試験も終り大学祭の頃・晩秋

秋四題

○今日も一日過ぎて行く日頃うるはし

秋の花

○野道うるはし秋の草 哀愁の胞に

抱かれん

○いずこの人と知れずとも

吾 配気の胸にとどめけり

○ふるさとの思いしのびつつ

秋の草を散らして気麗はし

思い出

旅行けり 友のいづこに吾ありて

今日なりゆけり我が心

秋の日に垣根に照らし四辺形 麗はしの歩み調べて見たり音の足

入り音にとして我麗はしの人と会いてこそ人生の花卉の開くを覚えり

明日の悠しき麗はしの人よ旅下りて

田園のさじきの中に麗しの花を見たり

ふるさとの愁情

ふるさとを覚えて見えし秋の空

天高くそびえて見えり宇土櫓

ふるさとの名城に帰しや足いづこ

名城の友となり行かん

我 栄枯盛衰の秋の空に似たりや古昔の西南の役偲びつつ

噫肥後魂のこんこんと湧き出ずるや噴煙の阿蘇と共に男子なん

ふるさとに在りて歴史の伝え伝統の鎮西健児の意気高らかに 大銀杏城に在りて銀杏の吹舞の中に生きつ足跡残して銀杏あり

噫父母の門出思いし燈火の 吾無限界に入りて開かん楽しき

筑紫野に在りてふるさとを思いし詩

筑後平野に在りて吾独りなば遠からじ
ふるさとの哀し楽しき交響の 田園の
長き直線の流れに沿いて連らねゆく
偲びは心を引きて汽笛の音となりて流
れ行く

水の流れ永遠の盛衰をきざんで流れ社
会在りて 父母恋しきに窓越しの淋し
き思い汽笛に似たり

我 連水の周い無限の境地偲びつつ銀
杏の落葉見たり

上の人栄光の日来たりなば 我喜びも
人しをなり

離れて遠き思いおば ふるさとに在り
て近くあり吾健く

螢雪の窓辺を何時の日か輝らさんや吾
血潮なり

初冬に思いし詩

○新緑の窓辺の淡さみちびきて 氣立
に添いし望み 吾満ちてけり

○寒朝の日に日に小路のいじらしさ
陽の輝き 幼生の育くまん

○成り行く君の望みおば 吾して同じ
伴られど 世な世な今路 あきらめ
き

○独り咲きたる菊の花に 麦の誕生に
盛衰の今来りなば 明日来たりなば

○独り行く路頭の道の哀愁の 右に左
に雑草の いづこ思えば 吾 胞同
じよや

人生に思いし詩

○妥協せずして独りに成ることの今日
なりし 吾新窓の麗しき研心に導か
れけん

○美しき夢路に咲きし幼草の 成りし
日の清純の下に世ありて吾悲しけれ

○人生の美しき陽性の神光の輝き道の
玉なりし 現世の愛の滴くを捧げな
ん バラ色の人生に向いし吾の哲き
心よ遠きかな

○貧しき胸に燈の立つを見たり 吾春
立の氣燃えん これ人生たらん

後期試験後のつれづれに作った詩

○空港の青赤示す星空の 湾の白波飛
び浮ぶ 異国の情緒交り来らん

○筑紫野に白雲そいて吾が心 陽の間
に間に 出でしこだまし

○童交う稲穂の後の花模様 球のそぞ
ろの赤き面はし

○迷へる羊 志良雲のチャペルの聖堂
救生主 吾樂苦しの天使飛び立つ

○立春を迎えし日の出吾在りて いづ
こに行くらめ麗はし魂かな

○夕焼けの あかね色なす幼性の 淡
き心を広く伸ばしむ

○豆まきの音して過ぎし冬去りて 行
かば明日行く希望かな

○麗はしき今日も疲れし今宵在り 休
みに長きまどろみの 尊き姿 輝か
ん

○童に似たり陽相の 抱かれし所麗は
しの新緑の梢巢立たん若きかな

○夜なべして燈火輝く麗はしの 哲き
習いに飲はん美しき

○晩秋の去りし無相の月影よ 今 に
照らし夢の共びと

教養課程二年の師走作れる詩

○過ぎ行く旅窓のはた風に 吾ふるさ

との同胞を思いなん

○聖夜の清き物質の 永遠の尊き姿成
りし行く 神玉の磨きし事の末長く
よし

○此の地に沈みて行く哀しさよ 新緑
の友辺の愛の握りをば 独り路の望
みの道に不在なり

○健く生きぬく尊さよ 円り輝く最高
の人生の勇姿輝かん

○別れ路の長きラインの哀愁の 四角
の友よ 健く成り在れ

九州歯科大学入学試験を控えた二月に作
った詩

○野辺に幼し草原の 幼生の遊びに吾
在りて 自然の行方 広くこだまし

○高く積みたる文庫の 重ね知りけり
故郷の 栄光の日に麗はし瞳かな

○煙立ちたる白雲の 夏の栄華をそば
立ちて 今宵飛ばはむ 白きかな

○ふたとせの いしきこだまし筑紫野
に 帰り明日くる又の日か

○冬燈り日長く繰りて文読まむ 明り
に在りて哲き治よし

この当時から時の過ぎるのは早いもの
で、もう20年の月日が過ぎた。こうい
う恵まれた青春を送れた事を幸せに思い
且つ感謝する。一歯科開業医として頑張
っている。

「独りの路」より 教養課程二年夏詩作
学窓の辺に麗はしき花一つ咲きて 美
しき英姿に 吾励み行く その心は一
つに麗はしき慕いなり

卑弥呼の出身地と墓は菊鹿町か？

郷土史家 木 庭 春 生

「魏志倭人伝」の邪馬台国はどこか。
古代史最大の はまだ解消されていない。
専門研究者、推理作家に依る論争の著書
がすでに百冊以上になろう。それに素人
郷土史家に依る推定地が加えられている
が何れも地名立地条件からの推理で決め
手にはならない。卑弥呼に与えられた「
親魏倭王」の余印文は 死の奴婢百余人
の墳墓が見付からないからです。此れの
発掘が決め手である。そこは何処だろう
か、何日かは必ず掘り当てられるはずで
あるが。

そこで私も邪馬台国を求めて遂に吾が
町の山鹿郡吾平村（現鹿本郡菊鹿町相良）
を此定地としました。その弁をお聞き
下さい。

1. 「魏志倭人伝」は三世紀後半に晋の
陳寿が書いたとされている。数回複製
されているが原本はないので12世紀
末南宗本が一般に読まれている。それ
には邪馬壱国と壱（イ）の字であるが
その種本は魚豢（ギョカン）の「魏略」
の逸文とされており、両書はほぼ同
時代のもので「魏略」には邪馬壱国を

𪛗（ト又はタイと訓み日本字では台）の字で𪛗（イ）は陳寿の誤字であるとするか複刻の間違いとする説もあり、今は一般には邪馬台国と書かれている。更に此の二書の種本は王沈の「魏書」らしいと推測されているが、更に古い広志の「翰苑」には邪馬嘉と書かれていると云う（鈴木武樹著 日本古代史 99の謎70頁）、文字を持たない倭人の発音を漢字で邪馬嘉（ヤマガ）と表したのを写字複刻をかさねれば、九百年間には、嘉、𪛗、と誤写されることは有り得る。これについての論争は百家争鳴であるが、邪馬嘉となると山鹿郡であろう。山鹿説が有力になる。私の我田引水説であろうか。

2. 山鹿地方には古墳前期の塚は数えきれない程多いが、又後期には大古墳、特に装飾古墳が集中的に多いことは3世紀後半の邪馬台国の時代から大陸文化が早く導入されていたことを示し、卑弥呼女王の連合国21ヶ国7万余戸を容れるに充分の広さの菊池川流域の菊鹿玉平野がある。菊鹿町だけでも20余の古墳がある。
3. 吾平山相良寺がある。吾平観音（アヒラ相良）と一般に云う天台宗名刹である。源平合戦の頃まで吾平山（アヒラヤマ）山上にあった。相良寺（アヒラ）と書くのは鎌倉時代相良宗頼（人吉相良長頼の次弟）が地頭として当地に来て以来である。相良村は古墳時代から奈良時代までの現在も尚そうではあるが聖地であつたらしい。奈良から肥後に至る交通の要地であつた。奈良より肥後に入る国司等官吏には筑後川

菊池川の渡りは、昔は困難もあつたので、小倉から直線距離を取り山嶺の路を吾平山花立峠に至って初めて肥後国が眼下に一望出来て、一泊すれば国府は後12月である。此処から出る人も国境の町で先は筑後である。

4. ここに吾平山陵がある。鵜茅葺不合尊（ウガヤフキアエズノミコト）の陵と称し、陵さん（ミササギサン）と里民尊崇している岡で中腹から上は禁足地であつた。例年9月1日神楽を奏してミチガクと云う踊りをして麓から中腹の広場に登り本番の神楽を奏した。干天の年は婦人会の雨乞踊りもあり、その夜は村芝居でにぎわいました。

日本書紀に、神武天皇の父鵜茅葺不合尊の陵は筑紫の日向（ヒムカ）の吾平（アヒラ）に葬ると記される。筑紫は九州の事、後では九州北部を指すが大隅の吾平町にも洞窟遺跡があり、明治初期から歴史家に論争されたが、結局鹿児島側の政治力勝になっているが、戦後の研究は第十代崇神天皇以後は大王として実在したらしいが、その以前の九代はまだ弥生時代で首長はあつたろうが連合国家の王の存在は（卑弥呼女王以外には）認められていない。古事記、日本書記の人皇九代以前のことは神話とされ史実とされていない。「魏志」に「卑弥呼以て死す、大いに塚を作る。径は百余歩、葬に殉ずる者は好婢百余人、厚葬し棺有る無し」、神話にある鵜茅葺の陵ではなくても古来ミササギサンと尊崇される此の半円形の岡の頂上の土慢頭は自然の丘陵を利用した弥生時代後期三世紀来の古墳では

なかろうか。ボーリングを試みたが家形石棺らしい形の岩に触れる。尙調査し確信を得た後でないと里民の強い信仰地であるので発掘には慎重を期しているが、とにかく掘って見なければ決手は出ない。今年の秋にはと思っています。これこそ女王卑弥呼の墓と此定するがどうであろうか？ 発見された時はマスコミが何段抜活字にするかと話し合った事もあると云うが、はたして実現するかどうか。

5. 日向の天の岩戸と云う洞窟がある。前記の御陵より西に1キロの所で、元は相良の枝村であったが今は上山内の県道脇右岩壁の洞窟である。相良寺記に日向（ヒムキ）天の岩戸、御抜（オハライ）、九十九岩奥の院と載せられている処である。49年秋、古閑三博県議が菊水町トンカラリンを見て古代宗教遺跡説を出したが、元より史家ではないので他に異説が多く出され、排水路説、城抜穴説、最近では日置氏の砂鉄選別水溝説が出ているが尙依然謎のトンネルである。依って古代宗教遺跡説を実証する為、岩窟洞窟陰陽石をさ

がした、支那の陰陽説、朝鮮の風水説、日本の権現巨石信仰跡をさがし求めて見て廻った。そして古代信仰の山頂を結ぶ正三角形（井上辰雄教授説）の線上に陰陽巨石信仰遺跡が多い事に気付いた。

菊鹿町では米原の権現穴ワクト石、宮原具味尾の弁財天カサネ石、阿佐古の塀風岩姫壇、今村奥の院の陰陽石がそこにあった。そして遂に日向の天の岩戸に行きました。洞窟の岩の一部に苔が青く零が垂れていることで更にその奥に空洞があることがわかる。割れた小岩片を除き、2米程身体を這込ませて土器五、六片を得た。千七百年前の丁度卑弥呼の頃の野辺田式弥生後期末のものと判った。更に後日洞窟内の他の部分から岩片と混って土器が表面採集でゾクゾク出る。三千年前の縄文式で小さい石匁の固着しているものもある。県文化課に報告すると、もうあせってくれるな、県で発掘するからと云う。昨年5月松本清張氏の来町があった。一日の行程であったのでミササギサンの方は予定時間がなくて希望に



菊鹿町吾平相良の御陵（ミササギ）さん



菊鹿町日向の天の岩戸岩陰遺跡

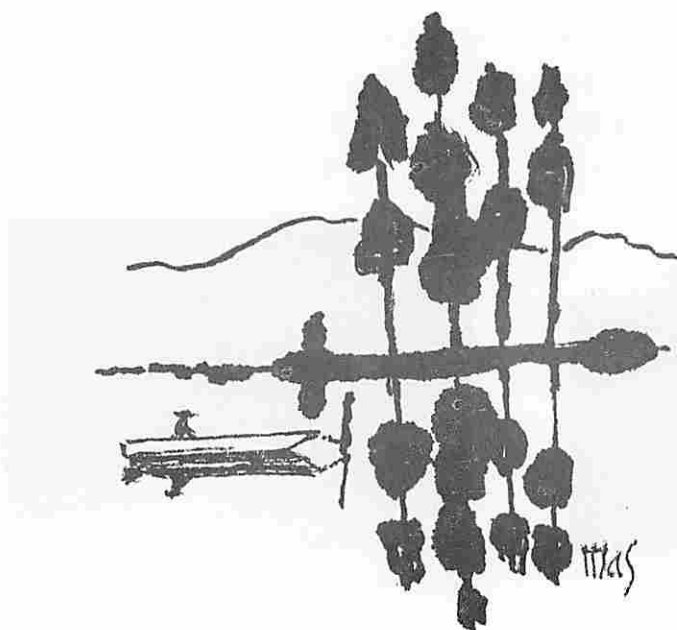
そえなかったが、松本氏のかねての説は卑弥呼は個人の名ではなく日向（ヒムキ、ヒムカ、ヒユウガ）の子であろう。卑弥呼（ヒミカ）は日向（ヒムカ）の子（娘）とする推理にピッタリの地であるとして来町されたのである。

氏の風水説にピッタリの米原の権現穴と菊水のトンカラリンを見られ、7月週間読売別冊特集「邪馬台国の謎にむ」が発行された。

8月末より3ヶ月県文化課の発掘があり、岩陰遺跡発掘としては熊本県初めてのことで注目された。5米程掘り下げて土石より遺物が多い位出土した。四層目に三千年前縄文晩期の人骨が埋葬された、頭骨は顎が張り馬の前歯の様な咬合で、骨格は頭丈で短身六等身

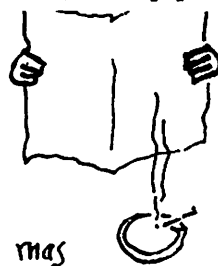
位である。弥生人骨とはまるで違う2、3百年の短期間に百済人との混血が盛んに行なわれたと説明されている。十米程の自然のせまいトンネルがあり、先は少し広くなっているが途中は這っても通過出来ない程の穴であるが多数の土器遺物がある。入口には岩が戸の様に塞がっていた。此の岩が岩戸ではなからうか？七層目からは七百年前の縄文前期の曾畑式土器が出た。今年7月より、残り3分の2が継続発掘される。興味が持たれる処である。

昨年11月太洋再開店記念事業に「の邪馬台国展」として、県下の考古資料を展示した。何か出土するでしょう。



日本大学歯学部同窓会 熊本県支部

本日休診



会員 吉 良 直 衛

東京歯科大学の後をうけて、今回は日本大学歯学部同窓会熊本県支部の概要を紹介させていただくことになりました。終戦後間もない昭和23年頃の初夏、恩師佐藤運雄先生、鈴木勝先生（現日大総長）等を御迎えして、原、片岡両先生の御世話により川尻の料亭で同窓会を開催したのが戦後の同窓会の始まりではなかったかと記憶しております。以来28年の才月を経て、今日の会員数32名の日本大学歯学部同窓会熊本県支部に至っております。

全国会員数約8,000名（川崎勇会長）に比較すると、本県は非常に少なく、又、九州7県を合わせても約250名位となっておりますのは、母校が東京と云う遠隔の地に在り、大半が、東北、関東、東京周辺の人で占められている関係かと思われます。

28年の間に、立山、竹田、甲斐田、前野の各先生方に支部長を歴任していただきましたが、その間色々の宇余曲折もあり、御苦労も多かったことと察せられますが、兎も角、現在は松永支部長の下に、佐藤先生の遺訓である和の精神をモ

ットーとして会の発展を期して、着実なる歩みを続けております。

年間行事としては、定期総会、隔月毎の例会、学術研修会、家族従業員を含むレクリエーションを行っております。特に、レクリエーションは昨年始めて実施しましたところ、予想外の好評を得ましたので、本年度は年2回の予算を計上しております。

数年前まで、南九州同窓会と称して鹿児島、宮崎、熊本三県合同による親睦会を毎年各県廻り持ちで開催しておりましたが、現在は九州地区連合同窓会として発展的解消をとげております。近年、久しく待望しておりました新進気鋭の先生方の加入と、その活躍により漸次清新発瀾たる会に変わりつつあることは喜ばしい現象であります。新設されました松戸歯学部も近く卒業生を送り出すことになっております。有名無実の会に終らせたくないという信念をそのまま実行にうつしていく現支部長の熱意と氣に押されながらも、我々会員は日大校歌冒頭の一節にある「日に日に新らたに」の意をふまえて、よりよい会に育てていきたいと念

願して努力をつづけております。今後ともより一層の御鞭達、御叱正をいただけ

れば幸甚に存じます。写真は本年4月17日原先生喜寿の祝宴の時のものです。



ク ラ ブ 紹 介

ボウリング部

クラブ選手権大会は、さる2月21日(土)午後3時30分より交通センターボウルで行われた。ボーリングも一時的ブームから下降し、クラブ練習も一部の先生方以外は、ボウリング場の閉鎖などであまり出来ない状態である。ところが、いざ会場に行ったら驚いた事には、他の大会が次から次へと行われ、以前をしのぐ思いである。本大会参加者は15名と前

回に比べ少なかったが、はなばなしいシーズンゲームの結果、堂々、宇治道孝先生が優勝された。準優勝は奥様の応援もあり関末喜先生が獲得された。優勝候補の一角、紅一点赤星茂子先生は今回は完調でなく、第6位になられた。しかし、大会終了後直ちに練習される所を見ると未だ20才代の若さとお見受けした。その他ベテランの味、奥田健治先生、ファ

イトのかたまり上田忠先生、豪快な投法の宇治信孝先生などの姿も見られ、実に見ごたえのある大会であった。

大会終了後、郵便貯金会館で部長、沢田稔先生、顧問松本文雄先生を囲んで反省会を催した。

成績次の通り（４Gトータルピン）

優勝	宇治道孝先生	700ピン
準優勝	関末喜先生	653ピン
第3位	宇治信孝先生	650ピン
第4位	上田忠先生	647ピン
第5位	奥田健治先生	629ピン
第6位	赤星茂子先生	618ピン

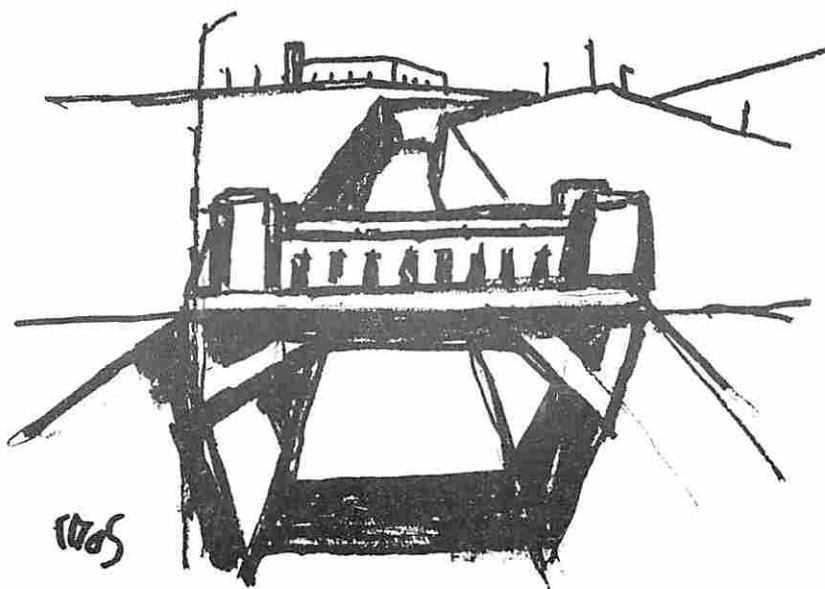
HG賞 宇治道孝先生 201ピン

敢闘賞 高千穂先生(85才) 95ピン

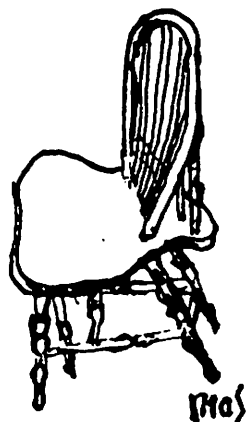
次回の大会は、近日中に行う予定。

追って通知します。

富岡記



Dining Room



基金通報だより

審査委員会から医療機関に連絡した主なる事項

(50年8月~51年1月)

- 同一病名は同一歯式にまとめて記載して下さい。
- 病名の不適当なものがあります。なるべく保険用語を用いて下さい。
- 病名等記載事項は正確にきれいに誰にでも読めるよう記入して下さい。
- 継歯等の略称は正しくSKと記入して下さい。
- 病名洩れが多いようです提出に際し今一度点検して下さい。
- 咬合調整の対象病名の不明なものがあります。
- 初診時以外の時間外加算、診療加算等は最下欄のその他の欄で請求して下さい。初診欄は初診時のみです。
- 時間外加算の請求が多いようです。加算の主旨を十分理解して下さい。
- 病名に対し不適当と考えられる投薬があります。
- 処方箋で投薬されたものについての記入は特に記入を要するような場合を除いて記入される必要はありません。
- ZS病名での除石は12点の請求です。
- 简单なる除石と複雑なる除石の重複請求は慣例的にならないようにして下さい。
- 1歯ごとにZS病名の併記が多くめだちます。除石は1歯単位でなく三分の一単位でなるべく行なって下さい。
- 盲のう搔爬には36点の複雑除石が含まれていますので、除石の36点と盲のう搔爬の重複請求は原則としてできません。
- 特定薬剤については一歯単位三分の一単位、一単位一口単位で、合計価格より40円を差し引き算定して下さい。
- 特定薬剤を算定される場合は必要に応じ使用量を記入、点数×(回数)で算定点数を記入して下さい。
- サジカルバックは特定薬剤ですので所定点数より4点差し引き請求して下さい。

い。

- 100点以上の処置、手術当日の特定薬剤は使用されても請求できません。
- Per 病名で根管治療と同時に当該歯の歯肉貼薬の軟処置の算定は認められません。
- Per 病名で歯牙の安静のための一時的な当該歯の削合は咬合調整としては認められません。処置料に含まれます。
- 口角ピラン処置は処置のその他の欄で両側同時に行なわれても一回として請求して下さい。
- 軟外科処置は1口腔単位となっています。従って2個所以上の部位を同時に行なっても1回の算定となります。
- 抜歯当日の外科処置料は抜歯料に含まれていますので請求できません。
- 抜歯と同時の止血、搔爬、縫合等の処置を行われても請求できません。
- 後出血の止血処置については Per → 後出血のよう記入されることを望みます。
- 乳歯等C病名にサホライドを過剰に使用されたものが慣例的に認められます。サホライドの薬理を十分理解のうえ使用して下さい。
- 即処には除去料が含まれていますので別に請求はできません。
- すでに普通処置を行なった歯牙の即処は認められません。
- 即処に必ず電検の請求がありますが、即処の意義を理解し必要がある場合にのみ1口腔単位で行って下さい。
- 抜歯後の赤外線使用は慣例的にならないよう投薬等にて効果がない場合に用いて下さい。
- 架工義歯支台歯に健全歯を抜髄、生切等が慣例的に認められます医学的に好ましくありません。
- ◎印は健全歯を抜髄、生切した場合の印です。病名のあるもので抜髄等を行なった場合は○印です。
- スタディモデルの作製請求時期の不適當又は不必要と考えられるものがあります。

おたずねにこたえて

(14K金合金の使用について)

- (1) 問 14K金合金の保険給付はどのような場合に限られるか。

答 A、前歯に限り2面以上の歯冠修復(CK)及びダミー

B、2歯欠損までの有床義歯の線鉤 鋳造鉤 ただし、鋳造鉤は中切歯、

側切歯を鉤歯としたものは認められません。犬歯には差し支えありません。

C、継続歯（SK）

以上3項に限り認められます。

（注）生保の場合は認められません。

（歯冠形成について）

- (2) 問 失活歯の歯冠形成に当って築造物の窩洞形成料、印象料、装着料は算定できないか。

答 失活歯を歯冠形成する場合の築造についてはすべて所定の点数に含まれ別に算定できません。

- (3) 問 冠脱離、破損等に附随し築造物も脱離し、再装着した場合の築造物の再装着料は認められるか。

答 装着料の17点を準用してよいことになっています。ただし1歯について装着料も冠等の装着と重複しますのでその旨記入して下さい。ただし当該歯を新たに再度歯冠形成を行うような場合は築造物の再装着料は認められません。

（スクリー、ロック型、金属小釘の使用について）

- (4) 問 ピーン（金属小釘）の使用は築造等には使用できないか。

答 充填等歯冠修復にのみ認められ築造には認められません。



mas



おげんきですか



氏名	津野田 寿	大正5年7月27日生
自宅	熊本市水前寺6丁目41番22号	
	TEL 64-5927	
診療所	同上	
趣味	釣り	
ちょっと一言	健康第一と心掛けましょう	
経歴	昭和16年3月 京城歯科医学専門学校卒業	
	昭和17年1月 軍隊入隊	
	昭和24年8月 復員	
	昭和25年 国立熊本病院 歯科勤務	
	昭和27年 熊本中央病院 歯科医長	
	昭和33年 熊本市国府に開業	
	昭和43年 現住所に移転開業	

家族の紹介	妻	いづよ
	長男	博
	次男	稔

日大存学中
日大在学中



氏名	吉川 知彦	大正6年6月28日生
自宅	熊本市京町本町4-60 TEL 54-0538	
勤務先	熊本市二の丸町 国立熊本病院 53-0501	
趣味	旅行・園芸	
ちょっと一言	医師と患者とのつながりを大切に	
経歴	昭和14年 九歯専卒	
	昭和15年 海軍省嘱託(第2艦隊、第1航空艦隊、第3艦隊勤務)	
	昭和18年 湊海軍病院勤務	
	昭和19年 任海軍歯科医大尉	

昭和20年 国立霧島病院勤務
 昭和21年 国立熊本病院勤務（現在迄）
 其の間 元 熊本大学医学部付属看護学校講師
 熊本県保健婦養成所講師
 現 在 国立熊本病院付属看護学校講師
 熊本高等看護学校講師
 熊本県歯科衛生士学院講師
 熊本県支払基金審査委員
 国鉄共済組合審査委員

家族の紹介 妻と一男二女
 （長女は嫁いで東京在）



氏 名 矢毛石 幸 男 大正6年8月13日生
 自 宅 熊本市竜田町上立田397
 TEL 38-7018
 診 療 所 同 上
 趣 味 （フライキャスティング及磯釣）
 ヨット 写真（現在ビデオを主とす）
 ちょっと一言 何事もすべて研究
 経 歴 昭和16年 九州歯科医専卒
 昭和36年3月31日
 医博（久留米医大に於て）

家族の紹介 妻 矢毛石キク（58才）
 三女 千里（28才）歯科衛生士
 四女 吉乃（24才）歯科技工士
 長男 陸男（31才）歯科医師（東歯卒）開業
 次男 豊（26才）岐阜歯大6年生
 長女 木下 京子（結婚）衛生技士
 次女 江口 幸子（結婚）薬剤師
 孫 9名



氏 名 佐 藤 正 平 大正 7 年 1 月 9 日 生
 自 宅 熊 本 市 川 尻 町 2 4 9 T E L 5 7 - 9 7 7 2
 診 療 所 同 上
 趣 味 8 ミ リ (小 型 映 画) ド ラ イ ブ
 ちょっと一言 会 員 各 先 生 方 と の 相 互 親 睦 を お 願 い し ま す 。
 特 に 8 ミ リ 、 ド ラ イ ブ に 御 趣 味 あ る 先 生 方
 と 御 連 絡 お 願 い し ま す 。
 経 歴 昭 和 1 6 年 日 本 歯 科 医 専 第 3 0 回 卒
 昭 和 1 9 年 応 召 中 部 第 6 2 部 隊
 昭 和 2 7 年 東 京 重 機 工 業 株 式 会 社 歯 科 室
 勤 務
 昭 和 3 2 年 東 京 都 台 東 区 浅 草 田 中 町 確 井
 歯 科 勤 務
 昭 和 3 8 年 熊 本 市 川 尻 町 に 開 業 現 在 に 至
 る。

家族の紹介 妻 和子 健在
 長女 恵子 精華女子短大在学中



氏 名 友 枝 晴 夫 大正 7 年 4 月 1 8 日 生
 自 宅 熊 本 市 紺 屋 今 町 4 - 2
 診 療 所 同 上 T E L 5 2 - 7 0 2 6
 趣 味 カ メ ラ 旅 行
 ちょっと一言 小 生 戦 争 の 生 残 り 、 第 2 の 人 生 の ん び り と
 生 き て 行 き ま す 。 戦 後 の 卒 業 生 は よ く 勉 強
 し て い る 様 で す 。 今 後 の 歯 科 界 発 展 の た め
 頑 張 っ て 下 さ い。

経 歴 昭 和 1 6 年 1 2 月 九 歯 専 1 8 回 卒 業 、 大 東 亜 戦 争 の た
 め 繰 上 げ 卒 業 で し た が 早 速 昭 和 1 7 年 2 月 入 隊 、 終 戦
 を 南 方 の ス ン バ 島 に て 迎 え 抑 留 生 活 を ジ ャ ワ で 1 年 半
 昭 和 2 2 年 4 月 陸 軍 曹 長 殿 で 宇 品 に 上 陸 復 員 し ま し た 。
 昭 和 2 2 年 5 月 ~ 2 3 年 8 月 ま で 草 葉 町 の 竹 田 先 生 の 処 で 開 業 の 勉 強 を さ せ て
 頂 き
 昭 和 2 3 年 9 月 開 業 現 在 に 至 っ て お り ま す。

家族の紹介
 妻 照子 5 3 才 健在

長男 和夫 27才 九歯大卒 城東町 九州全通会館3階にて開業

妻 陽子 23才 歯科衛生士

長女 恵美子 24才 歯科衛生士 長男の処に勤務して居ります。

良縁があればよろしくお願ひ致します。

長男に今年3月初孫(男)亮チャンが生まれ、小生もジューチャンになりました。



氏 名 齊 藤 孝 一 大正7年7月8日生

自 宅 熊本市谷尾崎町 1105番地

TEL 24-2242

診 療 所 熊本市中央街4-24 52-7779

趣 味 旅行 花作り(園芸)

ちよつと言 現今の歯科医界に於て「必要にして充分な医療」をすべての人々に与えるためには、「必要にして充分」の判断こそが医師の、Profession であることを自覚すべきであらう。

経 歴 昭和15年 大阪歯専卒

昭和19年 三菱航空機会社病院勤務(歯科医長)

昭和22年 大江町本168に開業

昭和27年 現在地に移転開業

家族の紹介

妻 千代子 大正13年生

長女 啓子 昭和23年生(家事手伝い・茶の湯免許)

長男 朗 昭和28年生(大阪歯科大学6回生)



氏 名 林 田 充 成 大正7年6月26日生

自 宅 上熊本2丁目11-22 TEL 52-9607

趣 味 剣道七段教士 居合道六段 美術観賞

ちよつと言 十有余年種々会務に参与するも何一つ成果なし 汗顔の至り

経 歴 昭和16年 九歯専卒 同17年1月現役兵入隊

昭和20年終戦と同時に ソ連シベリアに抑

留 同 2 3 年 1 1 月 復 員
 昭和 2 5 年 京 町 に 開 業 同 4 0 年 現 在 地 に 移 転
 昭和 4 7 年 8 月 学 位 受 領

家族の紹介

妻 周子 5 5 才
 長男 裕一 2 6 才 福岡歯科大学 4 年在学中
 長女 邦子 2 2 才 衛生士（家業手伝）
 よき伴侶御紹介の程宜しくお願いします。



氏 名 高 崎 敬 正 大正 7 年 1 1 月 5 日 生
 自 宅 熊本市湖東 2 丁目 1 6 番 1 4 号
 TEL 6 8 - 5 3 7 5
 診 療 所 熊本市健軍 2 丁目 1 3 番 1 5 号
 TEL 6 8 - 3 3 4 1
 趣 味 園芸 読書 旅行（妻同伴）
 ちょっと一言 現在のところ健康で、停年の心配もなく働
 ける毎日をしあわせに思います。
 日日は好日

経 歴 昭和 1 6 年 1 2 月 九歯専卒業
 昭和 1 9 年 熊本三菱病院 勤務
 昭和 2 1 年 上記熊本三菱病院より熊本市立市民病院に移管
 昭和 3 5 年 3 月 熊本大学医学部より学位受領
 昭和 4 5 年 6 月 熊本市立市民病院退職（在職 2 4 年）
 現在地に開業

家族の紹介 妻 春子（大正 1 5 年生）



氏 名 師 井 淳 吾 大正 8 年 2 月 1 6 日 生
 自 宅 熊本市池田 2 丁目 1 - 5 5 TEL 5 6 - 6 4 8 8
 診 療 所 同 上
 趣 味 剣道 詩吟 詩舞
 ちょっと一言 県市歯科医師会役員の方々の労に感謝致しま
 す。
 経 歴 昭和 1 7 年 京城歯科医専卒 1 3 回卒
 昭和 2 1 年 兵隊復員後大分にて開業

昭和 23 年 水道町浜坂歯科勤務
 昭和 26 年 3 月 水前寺にて開業
 昭和 36 年 公共事業のため東水前寺にて移転開業
 昭和 47 年 10 月 東バイパス工事の為現在地に移転開業
 (やっと落ち着きました。)
 昭和 48 年 熊本市立高平台小学校校医

家族の紹介

妻 悦子 51 才
 長女 美保子 28 才 自宅で助手として従事 (片腕になるような良縁をよろしく願います。
 次女 田中順子 26 才 歯科衛生士 熊本市池田 1 丁目在住 1 男あり
 長女と共に診察に従事
 三女 桜井孝子 24 才 歯科衛生士 熊本市県庁前在住 1 女あり



氏 名 杉野 政 敏 大正 8 年 11 月 1 日生
 自 宅 熊本市花畑町 10-3
 診 療 所 同 上
 趣 味 音楽 ハイキング 旅行
 ちょっと一言 総てに、理想と現実では仲々一致しないものです。努力が足りないのかも知れませんが、でもそれなりにコツコツやって居ります。
 経 歴 昭和 16 年 九歯専卒 4 月より 10 月まで附属病院に副手として勤務
 昭和 17 年 4 月 現役兵として入隊 同年 11 月陸軍軍医学校入学 (甲種幹部候補生)

小倉陸軍病院にて終戦 陸軍歯科医中尉

昭和 21 年 4 月～昭和 22 年 5 月まで熊本市市民病院歯科室勤務

昭和 22 年 6 月 自宅開業 現在に至る

昭和 34 年 7 月 熊本大学にて医学博士の学位を受けた。

家族の紹介

妻 スミ 54 才 健在
 長男 泰彦 30 才 九歯大大学院卒 現在福歯大補綴学教室研究室勤務
 妻 恵子 25 才 男子 1 人あり
 次男 信孝 27 才 東北歯科大学在学
 妻 まり子 27 才 男子 1 人あり
 母 ヤス 85 才 健在



氏 名 東 正 章 大正9年1月1日生
 自 宅 熊本市南熊本3丁目11-21
 TEL 64-7720

診 療 所 同 上
 趣 味 モーターボート フィッシング
 ちょっと一言 子供がいないので養子の御世話をお願い致したいと思います。

経 歴 昭和17年 九州歯科 19回卒
 飯塚市麻生鋳業附属病院
 勤務
 昭和28年5月 現在地にて開業

家族の紹介 妻 正子 48才



氏 名 志 賀 矩 雄 大正9年1月9日生
 自 宅 熊本市上熊本3-3-1 TEL 52-4730

診 療 所 同 上
 趣 味 小旅行
 ちょっと一言

経 歴 昭和17年 九歯専卒
 昭和25年 現在地開業

家族の紹介

妻 チエ子 47才 健在
 長女 由香子 20才 県庁職員互助会勤務
 長男 英 敏 14才 ラ・サール中在学



氏 名 野 副 サワ子 大正9年12月10日生
 自 宅 熊本市黒髪2丁目16-15
 TEL 43-5231

診 療 所 同 上
 趣 味 小旅行
 ちょっと一言 先生方の碁の好きな先生の住所をお教えてもらいたいと思います。主人が碁好きですから。

経 歴 昭和16年 日本女子歯科医学専門学校卒
 昭和17年 福岡県羽犬塚開業

昭和25年 熊本移動
 昭和29年 下益城郡砥用開業
 昭和48年 熊本市黒髪移転開業

家族の紹介

主人 次守 61才 健在
 長男 勝正 28才 自宅
 妻 幸枝 26才 自宅
 長男の長男 正幸 0才 自宅
 長女 陽子 35才 美容師



氏 名 武 田 幸 一 大正11年9月14日生
 自 宅 熊本市本荘5丁目8番3号
 TEL 64-0603

診 療 所 同 上

趣 味 読 書

ちよつと言 若いと思っているうちに、子供達は次々に親のもとから離れ、最近では俺も年だなあと感じる様になりました。今後は健康管理に努め長生きしたいものです。

経 歴

全国歯科国保組合連合会調査担当理事として3期5ヶ年の間、歯科国保一筋に、私なりに努力して来ましたが本年3月任期満了で退任致しました。唯、目的を十分に果たす事が出来なかった事が心残りです。又、昨年より福岡歯科大学非常勤講師として、新しい気持で学生の指導に当たっています。

家族の紹介

男子4名、己れの好きな道に勝手自由に進んでいます。子供等が夫々成長し親もとを離れ、暇が出来た女房は益々趣味にこり忘れられた人が親爺「えゝまあまあよ」で昨年はカナダ、アメリカ、メキシコを旅行して来しました。
 とにかくにも家族全員健康である事が自慢です。



氏 名 松 本 良 範 大正10年9月24日生
 自 宅 熊本市琴平本町 3-45
 TEL 64-5473

趣 味 ドライブとゴルフ
 ちょっと一言
 経 歴 昭和17年 九州歯科医専卒
 昭和21年 父と共に就業
 昭和47年 熊本市民生委員 現在に至る

家族の紹介 妻 松本クニエ 51才
 長女、次女、三女 嫁ぐ
 長男 松本英久 21才

❖ 前号で、福田実先生と中川熊雄先生の写真が入れ変っておりました。両先生には大変御迷惑をおかけしました。ここに訂正しおわびいたします。



氏 名 中 川 熊 雄 大正4年9月1日生
 自 宅 熊本市魚屋町1丁目26番地
 TEL 52-4214



氏 名 福 田 実 大正6年1月5日生
 自 宅 熊本市小島下町2012
 TEL 29-3775

診 療 所 同上 TEL 29-7107



昭和50年度通常総会報告

と き 昭和51年3月26日(金) 午後7時30分

ところ 熊本県歯科医師会館 3階ホール

1. 開 会
2. 物故会員に対する黙禱
3. 会長挨拶
4. 議長選出…………… 執行部一任により議長に渡辺益雄先生を選出
5. 議事録署名人選出…………… 議長一任により議事録署名人に吉崎久幸先生、椿幸雄先生を選出
6. 会務、庶務報告…………… 山室専務理事により、会員現況ならびに50年度主要業務、51年度事業計画について報告
7. 会計報告…………… 昭和50年度、熊本市歯科医師会才入才出現況報告ならびに共済会費現況報告が、宇都宮常務理事により詳細について説明報告
8. 監事監査報告…………… 杉野監事より監査報告
9. 議 事
 - (1) 代議員議長審議経過報告
代議員会議長、坂元一夫先生より報告
 - (2) 昭和49年度才入才出決算書の承認を求める件……………承認
 - (3) 財産(備品)目録の承認を求める件……………承認
 - (4) 昭和51年度予算案の承認を求める件……………承認
 - (5) 昭和50年度、熊本市歯科医師会共済会才入才出の承認を求める件……………承認
10. 協 議
現在の社会保険と日歯の動きについて質問が出たが、日歯と県歯の行動、説明を待っている段階であるとの執行部説明
11. 閉 会

会 務 報 告

年 月 日	行 事 内 容	年 月 日	行 事 内 容
50, 4, 3	理 事 会	50, 10, 25	学術講演会 講師 ビーチ 蓉子
10,	広報委員会	26	歯の無料検診 於：岩田屋伊勢丹
11	会員福祉委員会	27	無料検診反省会
15	学術委員会	11, 11	学校歯科委員会
16	代議員会	15	広報委員会
18	学校歯科委員会	18	口腔衛生委員会
19	学術講演会	19	広報委員会
21	口腔衛生委員会	21	理事会
23	医療管理委員会	26	臨事理事会
24	会員福祉委員会	27	映写会
25	学術委員会	12, 5	会員福祉委員会
29	レクレーション ひのくにランド	15	広報委員会
5, 7	学校歯科、口腔衛生合同委員会	17	社保委員会
16	社保委員会	19	理事会
21	広報委員会	25	映写会、学術委員会
22	理事会 映写会	27	学校歯科、口腔衛生合同委員会
24	母と子のよい歯のコンクール	51.1, 13	学術委員会
30	川尻支部会	14	広報委員会
6, 3	学術委員会	21	医療管理委員会
8	歯の祭典	22	映写会、口腔衛生委員会
13	理事会	23	確定申告説明会
16	広報委員会	26	理事会
20	学校歯科委員会	30	会員福祉委員会
26	映写会、学術委員会	31	臨時理事会
7, 4	広報委員会	2, 9	幼稚園児のフッ素塗布打合せ会
18	学校歯科委員会	12	労働保険事務手続説明会
24	理事会、映写会、学術委員会	13	臨時理事会
8, 20	広報委員会	14	懇親パーティ 於：ホテルキャッスル
22	理事会	18	理事会
25	口腔衛生委員会	19	広報委員会
28	映写会、学術委員会	26	映写会、学術委員会
9, 5	学校歯科委員会	3, 9	監事監査
9	監事監査	11	労働保険事務手続説明会
10	広報委員会	16	理事会
22	代議員会	18	代議員会
25	映写会		
27・28	宮崎学会		
10, 2	学術委員会、広報委員会		現在会員数 200名
3	学校歯科、口腔衛生合同委員会		一般会員 171名
11・12	九州歯大同窓会講演会（福岡）		親子 " 14名
19・20	理事会		終身 " 13名
22～25	歯みがき訓練		勤務 " 2名
23	映写会		

昭和50年度熊本市歯科医師会才入才出

才 入 11,035,674

才 出 7,876,422

残 高 3,159,252

S 51. 2. 28現在

(才入の部)

款 項	費 目	予 算 額	調 定 額	収 入 済 額	未収金	備 考
1	会 費	6,559,120	5,283,905	5,283,905		
1	均 等 割	1,915,000	1,843,000	1,843,000		
2	保険診療負担金	3,644,120	3,040,905	3,040,905		診療報酬 $\frac{1}{1000}$
3	入 会 金	1,000,000	400,000	400,000		新入会員 4 名
2	寄 付 金	856,132	935,565	935,565		簡易保険 $\frac{5}{7}$
3	過 年 度 会 費	10,000	0	0		
4	雑 収 入	1,666,665	1,819,291	1,819,291		
1	預 金 利 子	41,268	78,679	78,679		富士銀行、肥後銀行
2	雑 入	1,625,397	1,740,612	1,740,612		簡易保険 $\frac{2}{7}$ 生命保険事務手数料
5	前年度繰越金	1,582,151	2,996,913	2,996,913		
	計	10,674,068	11,035,674	11,035,674		

(才出の部)

款 項	費 目	予 算 額	支 出 済 額	予 算 残 額	備 考
1	事 業 費	4,250,000	3,275,896	974,104	
1	学 術 委 員 会 費	600,000	555,847	44,153	学術講演会 ビデオテープ講師 189,000 補講師 100,000
2	口腔衛生委員会費	550,000	389,770	160,230	よい歯のコンクール 61,000 歯の無料検診 50,000
3	医療保障委員会費	500,000	64,250	435,750	
4	医療管理委員会費	100,000	27,900	72,100	
5	広報委員会費	1,000,000	788,655	211,345	会誌 18号 149,000 19号 162,000 20号 240,000
6	会員福祉費	1,000,000	968,570	31,430	レクレーション 223,000 懇親パーティ 480,000
7	医 政 費	100,000	100,000	0	
8	学校歯科委員会費	400,000	380,904	19,096	
2	事 務 費	4,699,920	3,172,276	1,527,644	
1	渉 外 費	400,000	403,930	△ 3930	
2	俸 給	1,799,680	1,329,200	470,480	
3	諸 給 与	678,240	796,360	△ 118,120	
4	旅 費	200,000	96,900	103,100	
5	需 要 費	500,000	425,236	74,764	電話代、通信費、他
6	事 務 所 費	72,000	66,000	6,000	
7	備 品 費	1,000,000	53,050	946,950	
8	雑 費	50,000	1,600	48,400	
3	会 議 費	1,200,000	1,117,549	82,451	理事会旅費、車代、他会議費
4	職員厚生費	232,208	209,401	22,807	
1	退職積立金	72,000	66,000	6,000	
2	厚 生 費	160,208	143,401	16,807	
5	予 備 費	291,940	101,300	190,640	
	計	10,674,068	7,876,422	2,797,646	

昭和50年度熊本市歯科医師共済会才入才出現状

(S 51 2, 28現在)

収入額 2,315,427 支出額 1,245,000 残 額 1,070,427

才 入 の 部	金 額	才 出 の 部	金 額
共 済 組 合 負 担 金	1,396,000	見舞金 (緒方益夫先生)	20,000
初 回 金	6,000	" (片山幹夫先生)	10,000
利 息	19,441	" (角 勲 先生)	20,000
前 年 度 繰 越 金	893,986	弔慰金 (故相沢文規先生)	200,000
		" (故角 勲先生)	300,000
		" (故松本盛吉先生)	300,000
		" (故工藤文夫先生)	300,000
		" 斎藤先生御尊父様	10,000
		" 武内先生御尊父様	10,000
		" 彌政先生御母堂様	20,000
		見舞金 (奥村康也先生)	20,000
		花環代	35,000
計	2,315,427	計	1,245,000

熊本市歯科医師会財産 (備品) 目録

種 別	数 量	種 別	数 量
書 類 棚	6	オーバーヘッドプロジェクター	1
書 類 立	4	ビデオカセット V O 1 7 2 0	1
事 務 用 机	2	扇 風 機	1
" い す	2	電 話 器	1
金 庫	1	冷 蔵 庫	1
テ ー ブ ル (白)	4	ハ ガ キ 用 贈 写 機	1
" (茶)	2	チ エ ッ ク ラ イ タ ー	1
会 議 用 い す	12	掃 除 機 (手動)	1
応 接 セ ッ ト	1	印 鑑	
ロ ッ カ ー 2 人 用	1	書 籍	
ツ イ タ テ	2	傘 立	1
ラ ジ オ	1	え ん び つ 削 り	1
カ セ ッ ト	1	ワ イ ヤ レ ス マ イ ク	1

昭和51年度熊本市歯科医師会才入才出予算書

(才入の部)

款	項	費 目	本年度予算額	前年度予算額	比 較		備 考
					増	減	
1		会 費	5,999,605	6,559,120			
	1	均 等 割	1,867,000	1,915,000		48,000	一般会員 10,000 親子会員 5,000 終身会員 4,000 勤務会員 10,000
	2	保険診療負担金	3,632,605	3,644,120		11,515	保険診療報酬 1000
	3	入 会 金	500,000	1,000,000		500,000	入会金 100,000
2		寄 付 金	1,010,724	856,132	154,592		簡易保険割戻金 $\frac{1}{2}$
3		過 年 度 会 費	20,000	10,000	10,000		
4		雑 収 入	1,964,428	1,666,665			
	1	預 金 利 子	40,000	41,268		1,268	富士銀行、肥後銀行
	2	雑 入	1,924,428	1,625,397	299,031		
5		前年度繰越金	2,174,762	1,582,151	592,611		
		計	11,169,519	10,674,068	1,056,234	560,783	

(支出の部)

款	項	費 目	本年度予算額	前年度予算額	比 較		備 考
					増	減	
1		事 業 費	4,550,000	4,250,000			
	1	学 術 委 員 会 費	800,000	600,000	200,000		学術研修会並びに講演会
	2	口腔衛生委員会費	550,000	550,000			歯みがき訓練 歯の無料検査
	3	医療保障委員会費	400,000	500,000		100,000	社保指導
	4	医療管理委員会費	100,000	100,000			
	5	広報委員会 費	1,200,000	1,000,000	200,000		会誌発行
	6	会 員 福 祉 費	1,000,000	1,000,000			健康管理 レクレーション ゴルフ 撞球 新年会
	7	医 政 費	100,000	100,000			
	8	学校歯科委員会費	400,000	400,000			
2		事 務 費	4,809,811	4,699,920			
	1	渉 外 費	500,000	400,000	100,000		
	2	俸 給	1,853,258	1,799,680	53,578		
	3	諸 給 与	984,553	678,240	306,313		職員給与 超勤手当
	4	旅 費	200,000	200,000			
	5	需 用 費	750,000	500,000	250,000		通信費 電話代 文具費他消耗品費
	6	事 務 所 費	72,000	72,000			6,000×12ヶ月
	7	備 品 費	400,000	1,000,000		600,000	
	8	雑 費	50,000	50,000			
3		会 議 費	1,200,000	1,200,000			
4		職 員 厚 生 費	289,412	232,208			
	1	退 職 積 立 金	120,000	72,000	48,000		100,000×12ヶ月
	2	厚 生 費	169,412	160,208	9,204		保険料
5		予 備 費	320,296	291,940	28,356		
		計	11,169,519	10,674,068	1,195,451	700,000	

昭和51年度各委員会事業計画

会員福祉委員会

1. わらび狩り 4月25日(日)
2. 新年パーティ
3. 各地区対抗スポーツ(内容については検討中)

学校歯科委員会

1. 衛生週間中(6月4日～10日間)小中学校への16mm映画、テレビビデオカセットの貸出し。
2. 秋季、学校に於ける歯みがき訓練指導

口腔衛生委員会

1. 衛生週間事業
母と子の良い歯のコンクール市代表選出
幼稚園児対象のビデオカセット貸出
2. 秋の歯の検診事業
3. 幼稚園巡回事業

学術委員会

1. テレビ歯科講座及び16mm学術講座 映写会 毎月第4木曜日午後7時
2. 学術講演会 年4回
3. 会員発表学会
我々の日頃の臨床の中で成功、失敗例等の身近かな問題の発表学会
7月17日(土) PM1:00～5:00 に計画
なお、特別講演を元九大歯学部長、現九州中央病院院長 藤野博先生にお願いしてあります。
4. 毎月1回の委員会

医療管理委員会

1. 従業員退職金の研究
2. 税務対策として、税理士との税務に対する懇談

広報委員会

1. 熊本市歯科医師会会誌の発行

年4回発行

2. 会誌の原稿募集と編集のための活動

3. 会誌の改善、向上の研究と実施

表紙のカラー化

内容の読みやすい会誌づくりと写真を多くし、親しみのある会誌をめざす。特集号でユニークな内容の会誌を。

4. 会員名簿の作制、発行

5. 対外的PRについて調査、研究

社会保障委員会

皆様御存知の様に、中医協における日医武見会長の声明による、歯科差額徴収は技術料の二重取りという、歯科の事情を全く理解していない暴論をもとに、日歯委員不在のまま中医協は答申を、円城寺会長より厚生大臣に出しました。その内容は、(1)歯科差額は材料費に限る。(2)この為従来の差額徴収に関する局長、課長通達は廃止………云々。

これに対して本県はもとより各県より日歯に対して絶対に承服出来ない意味の「声名書」あるいは「要望書」が出されておりますが、その解決にあたって、現在の日歯の立場として全くの五里霧中と云った極めて困難なものの様に思われます。そこで、今回のこの事態にあたって、我々会員一人一人が、日歯の立場を十分に認識してというか歯科界の将来の為に御協力下さる様にお願い致します。

会員各位へのお願い

先日、熊本市のある会員の先生の所で、歯科医師としてなされた当然の診療行為に対して云いがかりをつけ、調停裁判にまで持ちこんだ患者がいますが、今後この様な患者が増えてこないともかぎりません。先生方も毎日お忙がしい中にも、一般診療は云うまでもなく、保険診療においても、事前に十分患者に説明の上診療にあたられる様お願い申し上げます。

診療に関して相談や心配事がありましたら県歯科医師会の瀬上事務長まで電話でも結構です。お知らせ下さい。

わ ら び 狩 り

市歯科医師会恒例のわらび狩りは、4月25日、市民会館前に集合し、会長以下総数160名、皆さん時間厳守されましたので、定刻9時に出発しました。前日迄心配された雨も降らず、春空の広がる好天気恵まれ我々も一安心……

バスは菊池溪谷を通り、美しいつつじを觀賞しながらミルクロードを経て大観峰に到着。風は少々膚寒い感じでしたが、子供達は元気よくわらびをつみに散って行きました。生にくわらびは少く、がっかりしましたが、それでも袋一杯つんで上気嫌の人もありましたよ。

約2時間楽しんだ後、阿蘇坊中の旅館司で、入浴、休憩し、帰路につきました。帰りはマイカー、バス等車の洪水でかなり時間はかかりましたが、その間は車中は子供等ののどくらべに変わり、なごやかなうちに全員無事に市民会館前に到着したことは何よりでした。

来年はどんな企画が良いですか。御希望は、会員福祉委員会の先生方にぜひ御一報下さい。最後に皆様の御協力に感謝申し上げます。 宇都宮 記



母と子の良い歯のコンクールを行って

熊本市の「母と子のよい歯のコンクール」を行いましたので報告します。

5月22日（土）に、熊本保健所において熊本市内の「母と子のよい歯コンクール」を行いました。これは熊本県の「母と子のよい歯のコンクール」のための一次審査であり、これにより選出された2組の母子が県大会に出場し、それにより県大会優勝者が九州大会に駒を進めるのです。

対象者は、昭和47年4月1日から昭和48年3月31日迄に生まれた幼児とその母親で、熊本西保健所からの6組と熊本保健所からの13組の予備審査で選出された計19組の母子であります。

審査委員は、保健所歯科医師と熊本市口腔衛生委員の歯科医師6名がこれにあたり和やかなうちに厳正審査の上、優秀者2組、優良者3組を選出しました。審査終了と同時に表彰式を行い、緒方会長より審査報告並びに表彰状の授与が行われ、盛会に終了しました。

富 田 記





新入会員御紹介



氏名 坂元 和彦 昭和22年5月12日生
 自宅 熊本市出町2-38 TEL 22-2798
 診療所 " 上高橋町473 TEL 29-8902
 趣味 ゴルフ 麻雀 ボーリング
 好きなことば 無
 経歴 昭和41年 九州学院高校卒業
 昭和43年4月 神奈川歯科大学入学
 昭和50年3月 同上 卒業
 昭和50年5月 国家試験合格現在に至る
 家族構成 妻 坂元輝代 S24年10月7日
 長女 はづき S49年8月21日



氏名 千場 敏昭 昭和22年10月22日生
 自宅 熊本市若葉2丁目14-5
 診療所 同上 TEL 67-1631
 趣味 ゴルフ テニス
 好きなことば "一球是魂"
 経歴 昭和41年 済々黉卒業
 昭和41年 九州歯科大学入学
 昭和47年 九州歯科大学卒業
 卒業後健軍町渡辺歯科に勤務(2年間)
 昭和49年 水道町千場歯科に勤務(2年間)
 昭和51年4月 熊本市若葉2丁目に開業
 家族構成 千場京子 昭和26年3月14日 妻
 千場涼子 昭和49年7月17日 長女



氏 名 分 山 和 男 昭和23年4月8日生
 自 宅 熊本市春日1丁目3-6 TEL52-7748
 診 療 所 同 上
 趣 味 オーディオ 釣り 写真
 好きなことば 一期一会
 経 歴 昭和48年3月 九州歯科大学卒業
 昭和48年4月以後11月迄父病気の為熊
 本市春日の父の診療所で診療
 昭和48年12月
 福岡市天神の加藤歯科に勤務
 昭和51年4月 父の診療所に勤務

家族構成 分山登喜男 大正2年6月26日生 父親
 分山 澄子 大正9年6月21日生 母親
 分山 英次 昭和25年3月21日生 弟
 分山 邦子 昭和30年2月6日生 妹

物故会員



森 山 国太郎先生
 熊本市新南部町134-7
 昭和51年4月30日死去

略 歴
 大正9年 大阪にて開業
 昭和41年 熊本にて開業

編 集 後 記

- 日本歯科医師会の会長も新たに、今後の社会保険医療制度に対する日歯の動きは、どのように進行するであろうか。中医協において歯科の差額徴収は歯科材料費のみに限るといふ、歯科の技術を見下した答申がなされ、又歯科診療報酬の引き上げは、見送られたままになっている。我々歯科医師は国民の口腔疾患に対して最善の医療を施すことに努力している。そのために我々歯科医師の生活権は当然獲得されなければならないはずである。全会員の決起の時が来ているのではなかろうか。
- 米建国二百年記念日を期して七月四日に米国の火星探査機バイキング1号が火星に着陸するという。う蝕をもったタコのような火星人が存在するのではなかろうか。しかし現在では火星人の存在も全く否定されているが、もしかすると何か生物が存在するかも知れない。
- 若い先生方の座談会を過去二回開催しましたが時間が足りないほど意見が出ました。次回の座談会にも御協力をお願い致します。又会員皆様の御意見等御投稿をお待ち致しております。

菊池 英一 記

今年三度目の発刊となりましたが、うっとうしい梅雨の季節、諸先生方、厳しい社会状況下、日々の診療に益々御清励の事と存じます。

この前、ゴルフの本を見ていたら、総義歯の具合が悪いとインパクトの瞬間に、力がはいらないとか、又ある人はスイングの時に義歯が口から落ちて来てフィニッシュでは、義歯がアドレスした頭の位置に残っているのに、顔がはるか左にある事で、すごいスエーである事が狼狽しながらもよくわかったとか、おもしろく書いてありました。

広報委員になって一年、会報が先生方により一ページでも多く読んでいただけたらと、企画、原稿集めに努力しておりますが年四回となりますと、会報が出たと思ったら次の原稿、編集と追い廻わされ、大変な仕事だとつくづく感じます。

甲斐 利博 記

今号は、会員発表学会の特集号とする為、発行を学会期日に合せました。

特集として、学会発表の先生方より抄録をいただきここに掲載しております。学会当日の予備知識になれば幸いです。また今号には5月10日に行いました若い先生方の雑談的座談会を誌上に登場させてみました。当日おいでになれなかった先生方は勿論、全ての先生方の相互の理解に役立てばと思いますが……

堤 直文 記

熊本市歯科医師会会誌

第 22 号

発行日 昭和51年7月10日発行

発行所 熊本市歯科医師会

熊本市坪井2丁目3番6号

TEL(43)6669

発行責任者 緒 方 益 夫

印刷所 (株) 昭 和 印 刷

熊本市坪井4丁目1-18

TEL(43)3886